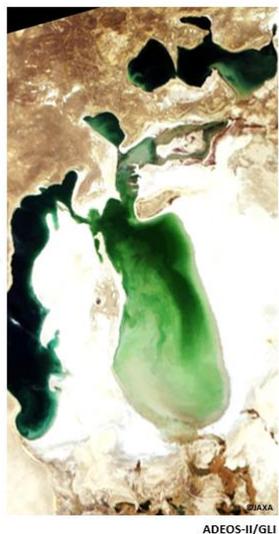


下の図は地球観測衛星から撮影したアラル海の様子です。アラル海はかつて世界で4番目に大きい湖でしたが、今では昔の面積の10分の1以下になってしまいました。何が原因だったのでしょうか？

1988年



2003年



2023年



1960年代に、アラル海の東側の乾燥地帯を農地にして、綿花の栽培を行う灌漑農業により、アラル海に流れ込む川の水を大量に使用しました。これらの結果アラル海の水位はどんどん下がってしまいました。



綿花

アラル海の多くの魚や鳥は死んでしまい、魚を売って生計を立てていた人たちも仕事が無くなってしまいました。また干上がった湖からは塩分が飛び、周りに住む人たちの健康にも影響が出ています。

アラル海の縮小は、人間活動による環境破壊の典型例です。アラル海の教訓から、私たちにできることは何でしょうか？

1. 持続可能な資源の利用  
水やエネルギーなどの資源を、将来にわたって利用できるように、節水や節電、リサイクルなどの取り組みを行う。
2. 人々の暮らしへの配慮  
灌漑農業で生計を立てている人々の暮らしにも配慮しながら、持続可能な社会の実現を目指す必要がある。



←現在のアラル海  
干上がったアラル海に  
船が取り残されています。